

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告に関する件

令和5年度事業報告

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

・当協会の事業は令和5年度事業計画に基づき、以下のとおり実施された。

1 植物検疫に関する知識の啓発

(1) 全植検協通報の発行

・全植検協通報の第143号(令和5年4月1日)から第146号(令和6年1月1日)まで、毎月3か月各号310部を作成して会員及び関係官庁へ配布した。別途、一部の地域協会の希望に応じて各号743部を頒布した。

(2) 植物検疫くん蒸安全旬間事業の支援

・「植物検疫くん蒸安全旬間」(11月1～10日)の行事について、地域協会が主体となって実施する地域が多いことから、当協会は、令和5年度も例年とおり植物検疫くん蒸安全旬間ポスターを作成し、各地域協会等に頒布した。

・令和5年度ポスター図案について、当協会は、全国の植物検疫関係官庁、団体等に募集案内(令和5年6月16日付文書)を行い、9月6日に同図案選考委員会を開催して99点の応募作品の中から最優秀作品(1点)を選考・決定した。更に、各地域協会と連絡をとってポスターの必要数を集計し、10月上旬に864枚(前年832枚)を印刷・頒布した。

(3) 当協会ホームページ(HP)の運営

・当協会HPで、当会の活動、植物検疫情報等につき広報を行っている。主な内容は、全植検協の概要、事業案内、出版物一覧、植物検疫情報、定款・会員名簿、役員名簿、財務諸表、輸出用木材こん包材消毒証明等に関するものである。また、植物検疫・植物防疫に関する各種の催しの案内など常に新しい情報の掲載に努めた。更に、令和5年度も継続して取り組んでいる輸出農産物の課題解決支援委託事業のバナーを設け、本事業に関する情報も提供した。

・HPのトップページに検索機能を設け、利用者の利便を図った。

・「お問合せ」コーナーでは、輸出入関係者等から照会メールを受信しているが、その都度、照会内容に応じてメール返信又は電話回答を行った。

・日本産農産物の輸出を支援するため、植物検疫条件等の情報を提供した。

(4) 植物検疫に関する照会に対する応答及び指導

・輸出用木材こん包材の消毒証明制度や諸手続、輸出入検査制度や諸手続、検疫病害虫の追加指定に関する規則改正等について、電話照会・相談等が週20件前後の頻度で寄せられた。それら照会等の中で、特に会員関係者からは輸出用木材こん包材の消毒証明制度や諸手続等について、また、一般業者・個人からは輸出入検疫の受検要否や輸出植物検疫証明書取得等について問合せが多かった。

2 植物検疫に関する情報並びに資料の収集、整理及び提供

輸入植物検疫実績の収集、整理及び配布

・植物防疫所「輸入植物検疫統計」(令和4年1～12月)、地域協会集計資料等を基に地域植物検疫協会別の輸入植物検疫数量に関する集計整理を行い、全植検協通報第145号(令和5年10月1日発行)に掲載した。

3 植物検疫に関する官公署及び団体との連絡及び協調

(1) 植物検疫に関する農水省通達等の伝達

- ・植物検疫に関する法令規則、通達、植物防疫検討会、農水省連絡文書、説明資料、木材こん包材規制等に関する情報等を会員に配布し周知徹底に努めた。

(2) 植物防疫関係官庁及び団体等との連絡及び協調

- ・植物検疫関係団体事務連絡会、植物防疫団体総務連絡会の会合に出席し、農業政策・植物防疫等に関する諸情報の入手・連絡・協調に努めた。また、報農会（植物保護ハイビジョンー2023）、日本植物防疫協会（日植防シンポジウム）は Web 方式で開催されたことから、これらに参加し情報収集に努めた。

4 植物検疫に関する印刷物・図書の作成刊行

(1) 「植物、輸入禁止品等輸入検査申請書」等の諸様式の印刷及び頒布

- ・業務委託先の地域協会から希望のあった「輸出用木材こん包材消毒証明書」様式については、計 570 冊（1 冊 50 枚）を頒布した。

(2) 既刊図書の頒布

- ・「輸出用木材こん包材の消毒証明マニュアル」（令和 4 年版）（19 部・累計 274 部）
- ・「日本の植物検疫」（平成 23 年版）（1 部、累計 194 部）
- ・「植物防疫関係法令通達集」（平成 20 年版）（2 部、累計 211 部）
- ・「植物検疫関係法令英文」（平成 21 年版）（3 部、累計 93 部）
- ・「資料 検疫有害動植物・非検疫有害動植物」（平成 28 年版）（3 部、累計 41 部）
- ・「資料 検疫有害動植物」（平成 24 年版）（2 部、累計 315 部）
- ・「資料 植物検疫統計この 10 年」（平成 25 年版）（2 部、累計 187 部）

5 植物検疫業務の円滑な運営に資する委員会の開催

(1) 令和 5 年度植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案選考委員会

令和 5 年 9 月 6 日に標記委員会を当会事務所（千代田区内神田）で開催した。全国の植物検疫関係者から応募のあった図案作品 99 点（内訳：植物検疫協会 56 点、植物検疫防除業会 43 点）を対象に標記委員会で最優秀作品 1 点、優秀作品 1 点及び入選作品 10 点を厳選した。選考の結果、東京植物検疫協会 新藤尋人氏の作品が最優秀作品に選ばれ、今年度の植物検疫くん蒸安全旬間ポスター図案に採用された。

(2) 令和 5 年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業に係る有識者検討会及び専門家選定委員会

4 月 18 日（火）、令和 5 年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業に係る有識者検討会及び専門家選定委員会を開催し、①各委員会内規、②令和 5 年度事業計画、③本事業の進め方及び④専門家選定等について意見を伺い、事業計画書を農林水産省に提出するとともに、専門家登録（委嘱通知）を行った。

(3) 第 14 回業務企画委員会

令和 6 年 2 月 21 日（水）に全農薬ビル（千代田区内神田）において開催。諮問事項及び答申内容は次のとおり。

- ① 令和 5 年度事業報告及び決算報告（見込み）に関する件

事務局から「令和5年度事業報告及び決算報告（見込み）」について説明があり、一部字句修正を行い、理事会に提出することが了承された。

- ② 令和6年度事業計画及び収支（増減）予算書（案）に関する件
事務局から「令和6年度事業計画及び収支（増減）予算書（案）」について説明があり、原案どおり理事会に提出することが了承された。
- ③ 入会申込者の入会承認に関する件
事務局から提案理由説明があり、原案どおり理事会に提出することが了承された。

6 植物検疫に関する研修会等の開催

(1) 令和5年度植物検疫全国研修会

令和6年2月6日、標記研修会をTKP神田ビジネスセンターで開催。受講者は会員関係団体・会社の役職員等39名。また、翌7日の現地見学会（横浜植物防疫所 新山下庁舎）には23名が参加。研修講師と講演内容は次のとおり。

「環境省におけるヒアリ対策について」

環境省野生生物課 田中 里奈 氏

「植物検疫くん蒸剤臭化メチルについて」

（一財）残留農薬研究所 飯島 和昭 氏

「輸出用木材こん包材の消毒証明業務について」

（一社）全国植物検疫協会 藁谷 一馬 氏

「植物検疫を巡る最近の状況」

農林水産省植物防疫課 中川 寛章 氏

(2) 令和5年度神戸支部検疫研究会（オンライン開催）

令和5年10月25日（水）、標記研究会をオンライン形式で開催した。受講者は会員役員等38名。講演内容は次のとおり。

「植物検疫を巡る最近の情勢」

農林水産省神戸植物防疫所 森本 信吾 氏

「植物検疫証明書の仕組み等について」

農林水産省神戸植物防疫所 田中 健吾 氏

7 植物検疫に関する受検体制の整備

(1) 輸出盆栽に添付する標識の作製及び頒布

・EU向け五葉松等特殊盆栽用標識は、EU植物検疫要求に基づき義務的措置として使用されている。令和5年5月31日付で横浜植物防疫所から依頼を受けて、EU向け五葉松等特殊盆栽用標識28,457枚（前年29,003枚）を作製し、令和5年7月24日付で全国19都道府県（北海道、山形、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、愛知、静岡、三重、京都、大阪、奈良、香川、愛媛、福岡）の盆栽生産者77名に配布した。

(2) 輸出用木材こん包材証明業務の円滑な実施

① 消毒証明実績

平成18年7月以来、中国等から消毒処理表示スタンプに加えて当協会の証明書が求められた場合や、豪州等から独自基準による証明書の要求があった場合に、当協会様式の「消毒証明書」を発給している。令和5年度の消毒証明書発給実績は、23,578件（前年比91.1%）であった。国別内訳は、中国10,428件（全体比44.2%）オーストラリア692件（2.9%）、EU892件（3.8%）ニュージーランド75件（0.3%）インドネシア2,535件（10.8%）、

その他 8,955 件 (38.0%) であった。

② 認定消毒実施者の認定状況

認定消毒実施者の新規認定、認定内容変更等については、申請提出の都度、消毒施設調査資料等に基づき審査し結果を通知しているが、令和 5 年度 (令和 6 年 3 月 31 日現在) の認定消毒実施者は、熱処理：306 事業者、くん蒸：22 事業者、合計 328 事業者である。

③ 登録こん包材生産者の登録状況

登録こん包材生産者の新規登録、登録内容変更等は、申請が提出された都度、調査資料等に基づき審査し通知しているが、令和 5 年度 (令和 6 年 3 月 31 日現在) の登録こん包材生産者は、1,559 事業者である。

④ 内部監査実施概要

輸出用木材こん包材の消毒認定・登録事業に関する内部監査は、令和 5 年 12 月、東京植物検疫協会及び神田本部事務所を対象に実施した。

[調査結果] 平成 4 年度事業は「要領」、「細則」及び「業務委託仕様書」を遵守し、適切に管理・運営されていた。基準不適合事例に対して必要な措置が講じられ、農水省への報告等が適切に行われていた。

(3) 「令和 5 年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業」 (農林水産省からの委託) の実施

令和 5 年 4 月 3 日 農林水産省と委託契約

令和 5 年 4 月 3 日 相談窓口を設置

令和 5 年 4 月 18 日 有識者検討会及び専門家選定委員会

これまでの主な実績：専門家 79 名 (専門分野：植物検疫、農薬適正使用、栽培管理・病害虫管理、病害虫防除、流通・販売等) を登録し、専門家リストを整備した。また、全国 17 カ所に相談窓口を設置し、チラシ(約 2.3 万枚)配付やホームページ等により本委託事業の周知を行った。本事業では 383 件の輸出産地カルテを作成し、73 件 (オンライン支援を含む) の産地等に対して延べ 166 名の専門家を派遣し、輸出支援を行った。

8 その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 功労者及び永年勤続者の表彰

第 12 回定時社員総会 (令和 5 年 6 月 12 日) で、次の 6 名の方々が当協会の功労者及び永年勤続者として表彰され、賞状及び記念品が授与された。

[功労者：感謝状] (2 名)

小林 将人氏 (一般社団法人 神戸植物検疫協会 前会長)

中村 一成氏 (一般社団法人 大阪植物検疫協会 前会長)

[永年勤続者：表彰状] (4 名)

吉岡 正人氏 (一般社団法人 室苦植物検疫協会)

平野 佑佳氏 (一般社団法人 大阪植物検疫協会)

高木 光邦氏 (東京植物検疫協会)

藤城 義修氏 (横浜植物防疫協会)

(2) 植物検疫に関する説明会等への出席

令和 5 年 6 月 1 日、オンライン形式で農林水産省植物防疫課主催「第 17 回国際植物防疫条

約(IPPC)年次総会(CPM-17)報告会」が開催された。参加者は農水省、植物防疫所、関係団体、種苗会社等。同報告会では、令和5年3月27日から31日にかけてローマで開催されたCPM-17について、次のような概要説明があった。

- ① 新たに採択された国際基準(ISPM)：「植物検疫輸入規制制度のためのガイドライン」の付属書「個別の輸入許可の利用」(ISPM20)及び「規制有害動植物に対する植物検疫措置」付属書「ビーズレイコナカイガラムシに対する放射線処理」(ISPM28)が採択された。
- ② ISPMの改正：ISPM5「植物検疫用語集」及びISPM18「植物検疫措置としての放射線照射の使用のための指針」が改正された。
- ③ 海上コンテナの清浄性：CPM勧告R-06「海上コンテナ」の改正案が2023年7月から各国協議に諮られる予定。
- ④ ePhyto(電子植物検疫証明書)について、資金調達及び費用負担等について検討グループでの議論が継続されることとなった。

(3) 国際植物防疫条約に関する国内連絡会

令和5年9月13日、オンライン形式により本連絡会が開催され、今年度加盟国協議に諮られているISPM案及びCPM勧告案(海上コンテナの経路に関連する病害虫リスクの最小化)について議論が行われた。本会には事務局から専務理事が委員として出席した。

(4) 植物防疫検討会

① 第3回検討会

令和5年6月15日、農林水産省において開催され、植物検疫に係る輸入解禁等について議論された。具体的には、(ア)：南アフリカ共和国産ハス種アボカド生果実の輸入解禁、(イ)：ブラジル産ハス種アボカドの生果実の輸入解禁、(ウ)：オーストラリア産マンゴウの生果実の品種制限の撤廃、(エ)：タイ産マンゴスチンの生果実の輸入条件の追加。

② 第4回検討会

令和6年1月12日、農林水産省において開催され、植物検疫に係る輸入解禁及び検疫有害動植物の指定について議論された。具体的には、(ア)：台湾産ドラゴンフルーツの種追加、(イ)：フィリピン産アボカドの輸入解禁、(ウ)：豪州産ヨーロッパぶどうの品種制限の撤廃及び(エ)：植物病原菌(*Candidatus Phytoplasma trifolii*)を植物検疫対象に追加する案について議論。

③ 第5回検討会

令和6年2月20日、農林水産省において開催され、「検疫有害動植物及び輸入植物検疫措置の見直し」及び「国内における移動規制の範囲の見直し」について議論された。これらの検討会には専務理事が委員として出席し、議論に参加した。

(5) 包括的レギュラトリーサイエンス研究推進委託事業及び植物検疫に係る臭化メチルくん蒸の代替薬剤の飼料作物等に対する安全性の確立委託事業に関する研究推進会議

令和5年10月6日及び令和6年1月31日、一般財団法人残留農薬研究所及び秋葉原ビジネスセンターにおいて両事業の研究推進会議が開催され、事務局から専務理事が委員として出席した。

(6) JEVICとの委託業務について

当協会の賛助会員である(株)JEVICと業務委託契約を結んでいるニュージーランド(NZ)向け中古自動車に係るサーベイランス業務(輸出自動車が蔵置されているコンテ

ナヤード周辺の害虫（特にカメムシ類）調査及び JEVIC への結果報告）については、今年度も横浜港、名古屋港、大阪港及び門司港において継続して実施した。

9 役員等の異動状況

第 12 回定時社員総会（令和 5 年 6 月 12 日）で、任期満了に伴う役員を選任について決議が行われ、理事 17 名及び監事 2 名、計 19 名が選任された。また、同総会後に臨時理事会が開催され、理事の中から会長 1 名、副会長 2 名が選任された。

全役員任期は、令和 5 年 6 月 12 日就任、令和 7 年 6 月定時社員総会の終結時満了となる。現在の役員名簿は、別記のとおり。

10 会員の異動状況

① 入退会

- (ア) ICheck（株）が特別会員として入会した（令和 5 年 5 月 19 日付け承認）。
- (イ) SGS ジャパン（株）が賛助会員として入会した（令和 6 年 3 月 7 日付け承認）。
- (ウ) 通常会員の内浦港植物検疫協会が退会（解散）した（令和 6 年 3 月 31 日付け）。

② 総括表

区 分	正 会 員 数			賛助会員数	総会員数
	通常会員	特別会員	計		
令和5年4月 1日現在	51	5	56	10	66
令和6年3月31日現在	50	6	56	11	67

(別記)

一般社団法人 全国植物検疫協会

役員等名簿

〔役員〕

(順不同・敬称略)

役職名	氏名	所属
会長	花島 陽治	横浜植物防疫協会会長
副会長	河野 達也	東京植物検疫協会会長
副会長	山下 剛	一般社団法人神戸植物検疫協会会長
専務理事	君島 悦夫	一般社団法人全国植物検疫協会
理事	戸嶋 祐司	小樽石狩植物検疫協会常務理事
理事	佐藤 和也	一般社団法人宮城植物検疫協会専務理事
理事	坂牧 克記	一般社団法人新潟植物検疫協会会長
理事	今泉 榮壽	横浜植物防疫協会常務理事
理事	福盛田 共義	一般社団法人農林水産航空協会会長
理事	宮井 尚彦	東海地区植物検疫協会常務理事
理事	柳川 明	清水植物検疫協会会長
理事	大門 督幸	伏木富山新港植物検疫協会会長
理事	大隅 正知	一般社団法人神戸植物検疫協会事務局長
理事	小林 将人	一般社団法人大阪植物検疫協会会長
理事	田丸 直文	一般社団法人広島植物検疫協会会長
理事	綾 政彦	一般社団法人香川県植物検疫協会会長
理事	三苫 賢治	九州植物検疫協会常務理事
監事	櫻井 良成	一般社団法人京葉地区植物検疫協会理事長
監事	吉住 直樹	一般社団法人岡山県植物検疫協会会長

(以上 理事 17 名 監事 2 名)

〔注〕 役員の任期：令和 7 年 6 月定時社員総会の終結時満了

〔顧問〕

顧問	古茶 武男	(元) 一般社団法人全国植物検疫協会副会長・専務理事
----	-------	----------------------------

11 会議等の開催状況一覧

(1) 総会・理事会

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
第34回理事会	R5. 5. 19	(書面)	① 令和4年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 令和5年度収支(増減)改正予算書案に関する件 ③ 第12回定時社員総会の開催に関する件 ④ 功労者及び永年勤続者の表彰に関する件 ⑤ 入会申込者の入会承認に関する件 全役員から提案どおり同意の意思表示があり、提案を可決する旨の理事会決議があったものと見なされた。
第35回理事会	R5. 6. 12	東京都	① 令和5年度業務の執行状況に関する件 ② 任期満了に伴う役員の選任に関する件 ③ 役員の報酬に関する件 提案どおり可決・承認された。
第12回定時社員総会	R5. 6. 12	東京都	① 令和4年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 任期満了に伴う役員の選任に関する件 ③ 役員の報酬に関する件 提案どおり可決・承認された。 報告事項： ・令和5年度事業計画及び収支(増減)予算書に関する件 ・入会申込者に関する件
臨時理事会	R5. 6. 12	東京都	会長、副会長及び専務理事の選定について提案どおり承認された。
第36回理事会	R6. 3. 7	東京都	① 令和5年度事業報告及び正味財産増減計算書(見込み)に関する件 ② 令和6年度事業計画及び収支(増減)予算書(案)に関する件 ③ 入会申込者の入会承認に関する件

(2) 令和5年度輸出先国の規制に係る産地への課題解決支援委託事業

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
委託契約	R5. 4. 3		農林水産省と委託契約
相談窓口の設置	R5. 4. 3		全国17か所に設置
有識者検討委員会	R5. 4. 18	東京	運営内規の確認及び事業計画の検討
専門家選定委員会	R5. 4. 18	東京	運営内規の確認、事業計画の検討及び専門家（75名）の選定。その後、4名を追加選定。

(3) 支部関係会議・研修会等

会議等の種類	開催月日	開催場所	主 な 議 題
第37回神戸支部総会	R5. 5. 9	神戸市	① 令和4年度事業報告及び決算報告に関する件 ② 令和5年度会費徴収案に関する件 ③ 役員の改選に関する件 ④ 令和5年度事業計画及び収支予算案に関する件(説明事項) 提案どおり可決・承認された。
神戸支部事務局責任者連絡会	R5. 12. 8	神戸市	① 令和5年度上半期(4~9月)収支(損益)状況報告 ② 令和5年度正味財産増減決算書(見込) ③ 令和6年度本部会費徴収案 ④ 令和6年度収支(増減)予算書(案) 提案どおり可決・承認された。
令和5年度神戸支部検疫研究会	R5. 10. 25	(オンライン)	① 植物検疫を巡る最近の情勢 ② 植物検疫証明書の仕組み等について
植物検疫全国研修会	R6. 2. 6	東京都	① 環境省におけるヒアリ対策について ② 植物検疫くん蒸剤臭化メチルについて ③ 輸出用木材こん包材の消毒証明業務について ④ 植物検疫を巡る最近の状況